



ロータリー：
変化をもたらす

RI 会長テーマ

七福人



会長 水野 賢一
幹事 鈴木 信男
副会長 高木 久子

会長指針：
一人はみんなの為に

・・・ 例会 記 録 ・・・

2月第2週例会 2018年 2月 8日 (木)

ソング : 我らの生業 ボックス : 29,000円 (報告者 休石 正基会員)
お客様紹介 : ㈱アマタケ 総務係長 鈴木浩二様 総務 ビティ ティエン フォン 様
本日出席率 : 55.77% 前回修正後65.38% (マークアップ2名) (報告者 千田喜一郎会員)

★ 会長の時間 高木久子副会長



本日会長欠席の為、私くすりのタカギ 高木久子が代理でこの時間を務めさせていただきます。

この季節全国でインフルエンザが流行っております。そのためマスクをつけている方が多く見受けられます。そこでマスクを着けている方々にお聞きします。「マスクの中で口を閉じていらっしゃいますでしょうか？」私自身も意識してみると、マスクに頼って口を開けていることが多いです。通常のマスクでは、インフルエンザウィルスは口の中まで侵入してしまいます。口を閉じて、鼻呼吸を心がけることが健康のための第一歩です。

それから、空気の乾燥するときには、昔からあるガーゼマスクによる「濡れマスク」も有効です。一度お試しくださいませ。

～くすりのタカギお知らせ～

「ぬれマスク」で、かぜ・花粉症を予防する。

普通の本綿のマスクを濡らして睡眠中に着用するだけで、かぜの症状の進みやすい時間帯に上気道を潤すとともに、鼻に空気をゆきわたらせて、うっとおしい気分をやわらげてくれます。みなさんもぜひお試しください。

かんたん！ぬれマスクの作り方

- ①マスクを水で濡らして軽く絞ります。冬はお湯を使いましょう。
- ②マスクの上部1/3を外側へ折り返します。こうすると寝ている間も安定して装着できます。
- ③「ぬれマスク」のできあがり！

寝る前にぬれマスクを着用しよう

マスクの素材は綿100%がベスト。吸湿性・親水性が高く、アレルギー源にもなりません。

寝ている間も鼻を覆わないので、息苦しくありません。

ガーゼに含まれた水分を、吸気により水蒸気として引っ張り出す効果があります。

●起きている間は、マスクを折らずに鼻を覆ってしまってもさほど息苦しくありません。

かぜ予防だけじゃない、「ぬれマスク」にはこんな効果も。

- ①咽頭・声帯を保護します。
ぬれマスクによって湿気を与えられた空気が、気道全体に行き渡るため、これらの器官もやさしく守られるのです。
- ②頭痛や花粉症を軽減する効果も。
鼻と副鼻腔の周辺には自律神経の末端がはりめぐらされていて、空気が行きわたるとそれらが円滑に動くからです。
- ③口呼吸を防止します。
ぬれマスクは必然的に鼻呼吸を促進します。口元の締めりを良くしたり、気分を爽快にしてくれます。

金比呂正会員
4度目のポールハリスフェロー

アマタケ総務係長鈴木浩二様
講話者 フォン様と



◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

- 1 水沢東ロータリークラブより 創立 50 周年記念式典の案内が届いています。
日 時 4月28日(土) 13時登録開始 会 場 水沢グランドホテル
登録料 10,000円 締切り 2月28日
- 2 ロータリーの友事務所より 手帳購入のお願いが届いています。
1冊 650円 購入希望の方事務局へお申し出ください。
- 3 ガバナー事務所より 地区大会の案内が届いています。
日 時 4月21日 会長・幹事会 14時30分～
RI 会長歓迎晩餐会 17時30分～
22日 本会議 11時登録受付開始 昼食後開会
懇親会 17時30分～
場 所 ホテルメトロポリタン仙台及び仙台国際センター 締切り 3月9日

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆
国際奉仕アワー : 在住外国人との交流

(株)アマタケ総務勤務

フィティ ティエン フォン 様 講話



みなさんはじめまして、フォンと申します。日本に来てから3年目になりました。
現在、アマタケで通訳者としてベトナム人実習生の生活やベトナム人実習生と会社の色々な取り扱いをしております。
日本語を勉強していたので、日本で仕事ができるのは私の人生のひとつの夢です。2年間には、日本での生活は楽しい事も寂しいこともあります。

楽しかった事:

最初、日本で楽しかったこととお話しさせていただきます。

- ・アマタケで働いて、日本の会社のワーキングスタイルを身に付けられました。(時間守る規則、報連相、食品安全衛生の知識などを勉強になりました。)
- ・気仙の人々はおもてなし親切、会社の人達は親切でお菓子を頂いていました。
- ・大船渡は山が囲んでいる景色が素晴らしくて、季節によって山の色がずいぶん変わって毎日楽しんでいます。
- ・毎年、地方のお祭り、花火大会を見に行ったり(さんま祭り、七夕祭り、椿祭り)
- ・新鮮なシーフードが美味しい(さんま、ほたて、かき、わかめ..)

- ・果物（りんご、カキ、いちご、ぶどう）
- ・リアスホールに市立図書館があって、本を借りたり、毎週行事が行われて、無料で見に行ったりしています。（コンサート演奏、バレエ演奏、楽器演奏、演劇、など）
- ・東北は寒い期間が長くて、温泉に浸かるのは最高。特に露天風呂で山、海の景色に引かれました。（大船渡温泉、五葉山温泉、黒崎温泉、乳頭温泉、小安峽温泉（秋田県））
- ・大船渡で共通語として日本語で外国人と接するのは不思議なふれあいだと思います。（中国人、インドネシア人、韓国人、アメリカ人、ミャンマー人等）
- ・仏教徒なので半年前山形県で宿坊が体験できるし、即身仏があるお寺に訪問できて、日本の仏教も少し勉強になりました。
- ・東北は、山が立派で登山が生活に欠かせない一つの健康的な運動だと思います。
日本で初めて山に登りながら自然がたっぷり景色を楽しんで、汗がべたべた掻いて頂上まで登って達成感が出来て良い気持ちになりました。（高尾山、今出山、五葉山、氷上山、早池峰山、栗駒山）
- ・雪お祭りも東北の一つの魅力で、去年小岩井雪まつりに行って遠くから雪が覆われた岩手山を眺めたりそりに乗って良い思い出ができました。
- ・アマタケ会社がベトナム語・ベトナム料理講座を開いて頂いて、ベトナム人と日本人がお互いの国の文化や習慣を教え合って、言葉を交わって、生活に役に立ちました。

つらかった事：

次は、もちろん楽しかった事以外、悩むや困ることもあります。

- ・ベトナムの平均温度は 26 度ぐらいで、毎年暖かくて、東北の寒さが長くて、私が苦手ですので、夜は外であんまり活動していません。
- ・現地人の気仙語が聞き取れなくて仕事や生活で困る時もあります。
- ・東北は、電車で行くなら届けない場所が多くて車がないと移動が不便になります。
- ・東北は、東京、大阪のようなベトナム料理レストランが珍しいので、たまには、ベトナムの伝統料理が懐かしくて。
- ・大船渡で色々な言語の勉強、エンターテインメント、活動を参加したいですが、少ないです。
- ・魚市場、大船渡博物館に行って東日本大震災の再現写真を見て深く感動していました。
- ・個人的な考え方で、日本人は外国人に対して、外と内の文化があって、表面いつも明るい雰囲気を作るんですが、親しみにくい、冷たい感じがしていました。

人生につらいことがあったからこそ、乗り越えればもっと成長になれると思います。

つまり、日本に生活して寂しい事より楽しい事のほうが多いので、毎日一生懸命働いて、まだまだたくさんのお楽しみをしています。

みなさん、ご清聴（せいちょう）ありがとうございました。

（フォンさんに頂いた原稿をそのまま掲載しました。）

◆ 伊藤久信会員卓話 外国人研修生の受け入れについて

外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護を図るための
技能実習法が成立しました！
※ 外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律

～ 技能実習制度が新しく生まれ変わります！！～

技能実習制度は、開発途上地域等への技能等の移転を図り、その経済発展を担う「人づくり」に協力することを目的とする制度として、我が国の国際貢献において重要な役割を果たしています。

技能実習法は、技能実習に関し、技能実習計画の認定及び監理団体の許可の制度を設け、これらに関する事務を行う外国人技能実習機構を設けること等により、技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護を図るものです。

技能実習法は、平成28年11月28日に公布されました。今後、公布の日から1年以内の施行に向けて、準備を進めていくこととなります。

本冊子は、技能実習法の内容を中心に、現段階で決まっている新制度の主な概要についてまとめたものです。施行に向けた詳細な情報については、随時ホームページにてお知らせしていきますので、併せて御参照下さい。

1 技能実習の基本理念及び関係者の責務（技能実習法第3条～第6条）

<技能実習の基本理念>

- 技能実習は、技能等の適正な修得等のために整備され、かつ、技能実習生が技能実習に専念できるようにその保護を図る体制が確立された環境で行われなければならない。
- 技能実習は、労働力の需給の調整の手段として行われてはならない。

<国の責務>

- この法律の目的を達成するため、基本理念に従って、技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護を図るために必要な施策を総合的かつ効果的に推進しなければならない。

<実習実施者の責務>

- 技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護について技能実習を行わせる者としての責任を自覚し、基本理念にのっとり、技能実習を行わせる環境の整備に努めるとともに、国及び地方公共団体が講ずる施策に協力しなければならない。

<監理団体の責務>

- 技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護について重要な役割を果たすものであることを自覚し、実習監理の責任を適切に果たすとともに、国及び地方公共団体が講ずる施策に協力しなければならない。

<技能実習生の責務>

- 技能実習に専念することにより、技能等の修得等をし、本国への技能等の移転に努めなければならない。

1

技能実習制度の見直しの内容について 参考資料

開発途上地域等の経済発展を担う「人づくり」に協力するという制度趣旨を徹底するため、管理監督体制を強化するとともに、技能実習生の保護を図る。

旧制度	見直し後
①政府(当局)間の取決めがない保証金を徴収している等の不適正な送出し機関の存在	① 実習生の送出しを希望する国との間で 政府(当局)間取決め を順次作成することを通じ、相手国政府(当局)と協力して不適正な送出し機関の排除を目指す。
②監理団体や実習実施者の義務・責任が不明確であり、実習体制が不十分	② 監理団体については 許可制 、実習実施者については 届出制 とし、技能実習計画は個々に 認定制 とする。
③民間機関である(公財)国際研修協力機構が法的権限がないまま巡回指導	③ 新たな 外国人技能実習機構(認可法人) を創設し、監理団体等に報告を求め、実地に検査する等の業務を実施。
④実習生の保護体制が不十分	④ 通報・申告窓口 を整備。人権侵害行為等に対する 罰則 を整備。 実習先変更支援 を充実。
⑤業所管省庁等の指導監督や連携体制が不十分	⑤ 業所管省庁、都道府県等に対し、 各種業法等に基づく協力要請 等を実施。これらの関係行政機関から成る「 地域協議会 」を設置し、指導監督・連携体制を構築。

(注) 青色網掛け部分は法律で規定

優良な監理団体等に対する拡充策のポイント

①優良な監理団体等への実習期間の延長	3年間 ⇒ 5年間(一旦帰国後、最大2年間の実習)
②優良な監理団体等における受入れ人数枠の拡大	常勤従業員数に応じた人数枠を倍増(最大5%まで ⇒ 最大10%まで等)
③対象職種拡大	地域限定の職種・企業独自の職種(社内検定の活用)・複数職種の実習の措置 職種の随時追加

※優良な監理団体等とは、法令違反がないこととより、技能研修試験の合格率、指導・相談体制等について、一定の要件を満たした監理団体及び実習実施者をいう。 4

外国人技能実習生の人気が高い国は？

まず日本政府が認定している国は、15ヶ国になります。(中国、インドネシア、ベトナム、フィリピン、タイ、ペルー、ラオス、スリランカ、インド、ミャンマー、モンゴル、ウズベキスタン、カンボジア、ネパール、バングラデシュ) 5～10年近く前は中国が一番人気でしたが、ここ最近ではベトナムが人気です。

理由としては、親日感情が高く真面目で勤勉な気質があり宗教上の問題もないことが大きいです。ただベトナムも急速に成長しているため物価や賃金も上昇しています。そのため中国のように自国である程度の収入が稼げるようになると日本へ来る魅力も減ってしまいます。今後期待されている国としては、カンボジアやミャンマーが有力との説もありますが、現時点ではベトナムの受け入れ人数が多いです。

また中国やタイなどは製造工場の拠点がある企業は、技能実習後に戻ってからまた自社の工場で働いてもらえるメリットがあるため受入れるケースもあります。フィリピンに関しては英語圏となるため英語が話せることから希望する企業がいます。ベトナム人の国民性は一般的に4つのKで表されます

Point1：器用 ベトナム人の手先の器用さは、様々な分野で知られています。例えば、

- ①着物や西陣織の帯刺繍などで不良品率が1%未満と極めて低い
- ②アジア地域のロボットコンテスト等では、必ずベトナムの大学が優勝や上位入賞を果たしている
- ③街中でバイクや機械修理を自分たちの手でやってしまう
- ④日本人女性観光客にも大人気のオーダーメイド服の製作も即日～数日で完成させる

等があげられます。

さらに、ベトナム人は記憶力に優れており、OA・精密機器メーカーの流れ作業でも、一人で担当する部品数がアジアの周辺国と比べても多いとのこと。

Point2：向上心・向学心旺盛

先程も述べましたが、ダブルスクールをしている人や習い事をしている人が圧倒的多数です。儒教の教えが強いため、ベトナム人は教育熱心で(最近は小学校入学前から英語を学ばせている親も多い)、新



しい知識を貪欲に吸収しようとし、自分自身の価値を高めることを至上命題としているようです。

Point3：近視眼的

ベトナム人の金銭感覚は「明日の100万円より今日の100円」らしいです。「今稼げるか」という点のみが重要。約30年にわたり戦争を続け、今日を生きるか死ぬかの生活を続けてきたからかもしれませんが、中長期的な話はベトナム人には響きにくい傾向があります。「長期的な生活の安定」を経験していないので、銀行も信用していません（国営・民間関係なく）。今でこそ少しずつ銀行預金も増えてはきているものの、タンス貯金が未だに主流なのはベトナム人大衆の心理の現れだと思います。

Point4：カアア天下

ベトナム社会を理解する上でキーワードになるのが、「カアア天下」です。実質経済を動かしているのは、断然女性です。戦争で男手を取られ女性が社会生活を守ってきた歴史的背景からだと思いますが、とにかくベトナム人女性は働き者で優しく、気が利きます。数世代が同じ屋根の下に暮らすことが一般的なベトナムでは、女性上位、年長者上位で、生活の切り盛りをしています。その女性の姿は逞しい限りです。（奥さんを助ける真面目な男性も数多くおりますので、念のため。）



日本でイオンといえば誰もが知る存在だが、ベトナムではそうではない。だからこそ、苦勞したこともあるという。たとえば、「郊外型ショッピングセンター」という業態自体がこれまで存在しなかったため、取引先やテナントは半信半疑、それどころか「そんなところまで客が来るわけがない」と後ろ向き。おかげで、開店前までにテナントをそろえる過程で

は、厳しい交渉が続いたという。

にもかかわらず、初日に客が集まった背景のひとつには、「ウェブ」の影響力があつた。ソフトオープンからうわさを聞きつけ訪れた客たちがスマートフォンで写真を撮影し、それをFacebookや現地のグルメサイトに次々と投稿した。

加えて、チラシの配布や誘導看板、ポイントカード会員の募集も効いてか、バイク15分圏に住む130万人の住民に知れわたり、それがグランドオープンで弾けた格好となった。「すごい宣伝効果。まさに客が客を呼ぶということを実感した」。テレビCMなどマスコミによる告知はいっさいしなかったという。ベトナムでは、いわゆるGMSと呼ばれる大型の総合スーパーというのが、珍しくインパクトがあつた。今のベトナムは昭和40年代の日本のような状況。人口が増え、産業が発展し、収入も伸び、さらなる新しい業態の出現が消費者から望まれている。しかし街には小さなスーパーやコンビニしかなく、限られた場所でしか買い物や食事をする事ができなかった。



フォー、パクチー、アオザイ、ホーチミン・・・色んなものが思い浮かぶと思いますが中でも激混みのラッシュアワー！多すぎるバイク！な、カオスな交通事情もベトナムの大きな特徴の一つではないで

しょうか。

① **すごいぞ日本製!** ベトナムではここ5年、毎年300万台(!)前後のバイクが新車で販売されています。その中でもホンダがシェアトップで16年には全体の70%という驚異的な数字をたたき出しています。さらにここに、ヤマハ、スズキも加わると、全体の8割以上が日本製という状況となっています。確かにハノイの町中でもバイクのホンダ率は極めて高く逆にホンダ以外のバイクを目にする機会は多くないように感じます。

② **すごいぞベトナム人!** ベトナムでよく見かけるバイクの多くは110cc前後です。日本でも最近125cc前後の小型バイクが利便性からか増えたように感じます。皆様も最近、ピンク色のナンバープレートを見られた事があるのではないのでしょうか。この利便性や渋滞が多い交通事情を考えるとこのサイズが最もベトナムにマッチしているのかもしれませんが。

が、それらよりも大きいのはベトナム人です。子供、野菜、建築資材から大きなTVまで!彼らは何でもバイクで運んでしまいます。彼ら彼女らにとってはバイクのサイズは大きな問題ではないのかもしれませんが。よくベトナム人の特徴として「器用」であることがあげられますがここでも如何なく発揮されております。



いつのまにか”という表現がぴったりではないのでしょうか。コーヒー豆の輸出量でベトナムが世界二位の地位にまで躍り出ていました。世界のコーヒー輸出国ランキングは一位がブラジル、二位がベトナム、そして三位と四位がコロンビアとインドネシア。スターバックスの店頭でもブラジル、コロンビア、インドネシアのコーヒー豆はよく見かけますが、ベトナムははつきり言ってコーヒー通の私にとっても盲点でした。

日経新聞の国際欄で見つけた記事によれば、実はベトナムのコーヒー産業をここまで育てた最大のパートナーがスイスのネスレだそうです。ネスレのスタッフがベトナムの農家に栽培技術や生産性を高める農法を指導しているのです。現地で育てたスタッフを加えるとベトナムには300人以上の指導係を擁していて21000ものコーヒー農家を指導しているそうです。こうしてベトナムのコーヒー生産は年々急増して、輸出量はコロンビアやインドネシアの倍、不動の首位だったブラジルの8割に迫るまで増加してきました。

外国人社員を受け入れる際の心構えとして・・・

- (1) 世の中の流れを理解する
～国内にいても求められる「グローバルマインド」
- (2) お互いの状況を伝え合い、違いを認め合う
- (3) 固定観念と価値観の押し付けに気をつける
- (4) 言語の壁はともに乗り越える

ご清聴ありがとうございました・・・・・・